

指定管理者制度の問題点と課題等の検討

委員会において、次の4テーマについて検討を行う

【検討テーマ】

1 指定管理者の裁量の範囲と施設の公共性の確保

指定管理者制度は、指定管理者の裁量を広く認め、民間ノウハウを活用し、創意工夫による利用者サービスの向上と経費の削減を目的としているが、施設の公共性を確保しながら、どの程度まで裁量が認められるか

2 安全管理のあり方、県と指定管理者の役割とリスク分担

公共サービスの質の確保と施設の安全管理の観点から、県と指定管理者の各々の役割とリスク分担はどうあるべきか

3 モニタリング・評価のあり方

公共サービスの質の確保や施設の安全管理、指定管理者の途中撤退・破綻の未然防止等のため、県はモニタリング・評価をどのように実施すべきか

4 適切な指定期間の長さ

ほとんどの施設で、3年間となっている現行の指定期間の長さは適当か